



ボランティア国際年



2001

2001年は ボランティア国際年です

協賛事業を募集しています。くわしくは次ページをご覧ください。



ボランティア国際年の
マスコットキャラクターです。



三重県内各地で次々に生まれつつある
市民活動支援センターや地域の市民活動ネットワークを紹介するコーナーです。

三重県ボランティアセンター

津市

三重県社会福祉協議会ボランティアセンターとしては、地域に密着した小規模なボランティア活動の育成は従来からの主要な使命として取り組まれますが、自助活動、有償活動、コミュニティービジネス等も含め、地域の活性化のために取り組むさまざまな人々の力をまちづくりに結集するためにも役割を果たしていきたいと考えています。

また、既に十分な機能を果たしてきた三重県NPO担当と机を並べることで、常に住民・活動者が集い、創造する拠点としての一翼を担えるよう頑張っていこうと思っておりますので、ご支援くださるようお願いいたします。

●開設時間・休日／開設時間：平日AM8:30～PM5:15

休日：土日・祝日・年末年始 ただし、みえ市民活動ボランティアセンターは、年末年始を除く毎日、AM9:00～PM10:00までオープンしています。

●機能／三重県社会福祉協議会のボランティアセンター機能。ただし、ボランティア保険業務・ビデオライブラリー貸出し業務は、従来どおり三重県社会福祉会館4階の三重県社会福祉協議会で行っています。
(津市桜橋2-131 Tel.059-227-5145 Fax.059-227-6618)

●活動状況／三重県社会福祉協議会のボランティアセンターは、本年4月、津駅前ビル・アスト津3階の「みえ市民活動ボランティアセンター」内に移転しましたが、これは社協・ボランティアセンターの方向性が、今や幅広い分野のNPOも含めた活動を支援する方向にシフトされており、その方針の下での移転と言えるものです。センターにはボランティア保険業務を除く全ての機能を移し、NPO担当職員の方々と机を並べ、2名の職員(大杉・野村)が対応しています。

●所在地／514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター内

●Tel./059-229-6634 ●Fax./059-229-6635

みえ市民活動ボランティアセンターとは？

みえ市民活動ボランティアセンターは、平成13年4月1日に開設し、活動と交流の場の提供や活動支援のため、会議室や交流スペースをはじめとして、印刷機や紙折り機などの機器を利用することができます。なお、施設設備等の予約は、Tel.059-222-5995までお問い合わせください。

また、アスト津3階は、この他に、三重県の機関である三重県生活部青少年担当、同国際担当、旅券センター、社団法人三重県青少年育成県民会議、財団法人三重県国際交流財団があり、三重県民のみなさんの自発的な社会貢献に関する活動を支援し、青少年の健全育成及び国際化の推進を行なうための総合施設となっています。



みえ市民活動ボランティアセンターの様子

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。



ボランティア国際年

2001年ボランティア国際年みえ協賛事業募集!

2001年にボランティアに関する事業を計画されている団体のみなさん、ボランティア国際年みえ協賛事業として、みえ推進協議会に登録をお願いできませんか。2001年1月から12月の間に取り組みられるボランティア事業で「ボランティア国際年」にふさわしいものであればOKです。みえ推進協議会もその事業の情報発信のお手伝いをさせていただきます。事業内容のわかる資料を添えて事務局までご提出ください。

●問い合わせ先／2001年ボランティア国際年みえ推進協議会(三重県ボランティアセンター内)

イベントスケジュール

木津川流域シンポジウム

●とき／9月2日(日)PM1:00～PM4:50 ●参加費／無料
●ところ／名張アスパア アスパアホール(名張市南町822-2)
●内容／講演…「川に親しむ幸せな子ども時代」大野重男さん
分科会からのプレゼンテーション…「木津川流域いっせいの水環境調査からの報告」、「こころの時代」アトラクション…影絵劇場「おたまじゃくしの旅」分科会…「伊賀の川を元気にするために」、「子どもと環境と自然学習」
●主催・問い合わせ先／上野市四十九町2802 木津川流域リフレッシュ事業推進協議会事務局 Tel.0595-24-8018 Fax.0595-24-8010 ●共催／伊賀フォーラム2010

障害者や高齢者のための

レクリエーション指導法研修会in津

【ゲーム指導法(ADLの低下した方を対象に)】

●とき／9月6日(木)、10月11日(木)PM7:00～PM9:00

【音楽を使ったレクリエーションの指導法】

●とき／9月17日(月)PM7:00～PM9:00

●ところ／津市中央公民館(津市丸の内養正町1-1)

●参加費／1回 500円(複数回数、セミナーに参加される方には割引があります。参加時にお問い合わせください)

●内容／今年度は、多種多様なニーズに対応するため、一般的な指導法のみでなく対象者を限定したより具体的な指導法のメニューも用意しました。参加対象は福祉施設職員、ホームヘルパー、介護福祉専門学校の学生、社会福祉関係者、その他本講習会の趣旨に賛同する方です。なお、本講習会は、日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクター資格取得の対象(現場実習事業参加)となる事業です。

●持ち物／運動のできる服装 ●募集人数／30人(先着順)

●応募締切／実施月の2日前(必着)

●申込方法／福祉指導法研修会申込みと記入の上、1.参加日、2.参加者名、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.年齢、7.性別を記入し、ハガキ、Fax、E-mailでお申込みください。

●申込・問い合わせ先／514-0065 津市河辺町3086-12 三重県レクリエーション協会(中井信子) Tel.059-224-9639 (谷)Fax.059-237-4837 E-mail akemi-t@res-edu.ed.jp

●主催／三重県レクリエーション協会津地区、三重県教育委員会、津市レクリエーション協会、津市福祉レクリエーション研究会

行政書士・鍵谷智さん講演

「こくさいか!コクサイカ!『内なる国際化』のタマエとホンネ」

●とき／9月8日(土)PM2:00～PM4:00

●ところ／三重県人権センター多目的ホール ●参加費／無料

●内容／皆さんは外国人に関して、どのような興味をお持ちでしょうか。外国人の権利と義務について日本人とどのように違うのか、その建前と本音の違いに案外気づかないまま接していることが多いと思います。外国人に関わる知識や情報を提供しながら、現在の状況などをお話します。

●申込方法／事前にFaxなどで申込む。

●申込・問い合わせ先／三重県人権問題研究所 Tel.059-233-

5525 Fax.059-233-5526

●共催／三重県人権問題研究所、三重県国際教育協会(MIEA)

東海道路宿駅制度制定400年記念

街道が伝えた外国文化～江戸時代の国際交流～

●とき／9月8日(土)AM10:00～PM4:00

●ところ／鈴鹿市文化会館さつきプラザ

●内容／PM1:00～辛基秀(シン・ギス)さんによる講演「朝鮮通信使と唐人踊り」を行うほか、唐人踊りの披露や韓国祭りなどを行います。

●主催・問い合わせ先／(財)鈴鹿国際交流協会 Tel.0593-83-0724 ⅡFC石薬師子ども国際交流の会 Tel.0593-74-1873

NPO講演会

「NPO運営のための秘訣」～ワシントン・ポスト受賞団体の実例から～

●とき／9月17日(月)PM6:30～PM8:30

●ところ／みえ市民活動ボランティアセンター

●参加費／1000円(当日持参)

●内容／アメリカのワシントンD.CではNPOがそれぞれ自分たちの工夫を凝らした運営方法を発表しあい、優秀な団体を表彰する民間の制度、「ワシントン・ポストアワード(賞)」があります。今回は、この実施のすべてを任されている「Washington Council of Agencies(WCA)」の事務局長、Betsy Johnsonさんを講師に迎え、活動内容や「ワシントン・ポスト賞」設置の経緯、NPOのマネジメント評価などを講演していただきます。

●申込・問い合わせ先／514-0009 津市羽所町700番地 アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター内三重県NPO担当 Tel.059-222-5982 Fax.059-222-5971

E-mail open@mienpo.net ●主催／評価システム研究会

平成のまちづくり「桑名ルネッサンス」認定事業

「まちを遊ぶ」スタッフ養成講座 北島尚志講演会

まちをあそぶ…まちは七色不思議

●とき／9月17日(月)PM6:30～PM8:30

●ところ／桑名別院本続寺 ●参加費／1000円

●内容／まちを再発見しながら、人々に関わり合い、遊びを工夫していく。それが「まちをあそぶ」ということです。今回は遊びのクリエイター、北島尚志さん(あそび・劇・表現活動センター「アフタフ・バーバン」代表)から「まちをあそぶ」の醍醐味、遊び心の大切さ、遊び体験などをお話いただきます。講演後、興味を持たれた方は10月28日(日)に行う「まちをあそぶ」のスタッフとして実行委員会に登録・参加をお願いします。

●募集人数／高校生以上 先着50人

●申込・問い合わせ先／511-0811 桑名市東方1400-28

桑名子ども劇場 Tel.&Fax.0594-21-0501

E-mail kuwakko@par.odn.ne.jp

動物愛護フォーラム三重2001

●とき／9月24日(振休)PM12:30～PM5:00

●ところ／三重県庁講堂(津市広明町13番地) ●参加費／無料

●内容／このフォーラムでは「こどものこころと教育～動物との関わりを通して～」をテーマに、こどもと動物との関わりについて考えます。

『基調講演』『こどもの情操教育における動物の可能性について』リチャード・スウェインさん(全米人道協会調査(査察)担当副会長)

『パネルディスカッション』動物虐待と青少年凶悪犯罪との関係、教育現場の取り組みなどを専門分野から話題提供し、議論を展開します。

●問い合わせ先／三重県健康福祉部薬務食品課 食品・生活衛生グループ Tel.059-224-2345

●主催／三重県、社団法人三重県獣医師会、三重県狂犬病予防協会、NPO法人「人と動物との共生をめざす会」

第11回現代邦楽「ARATAMA CONCERT」

●とき／9月29日(土)開演PM2:00 ●ところ／津リージョンプラザ

●参加費／前売1,500円、当日2,000円 [中高校生]前、当日売共500円
●内容／日本の伝統楽器である箏や尺八などを使い邦楽から洋楽まで幅広いジャンルの曲を演奏する現代邦楽演奏グループあらたまの年一度の定期演奏会です。今回のコンサート初演する、環境破壊に対する恐れと自然への畏敬の気持ちを詠いあげたオリジナルの交響曲「大地の歌」(三重県文化奨励賞受賞記念委嘱曲)他、合唱団「うたおに」と二胡奏者の曹雪晶他を迎えてのコンサートです。

※あらたまでは、現代邦楽の演奏を通じての阪神淡路大震災支援活動に続き、昨年より川や海をきれいにし、雑木を増すための緑の運動の支援を展開しています。演奏会当日の募金は全て緑のNPO活動支援センター(安芸郡河芸町大字上野3258)に寄付させていただきます。

●問い合わせ先／Tel.&Fax.0593-22-3221(伊藤)、Tel.0596-28-4805(入交)

.....

くわなルネサンス事業&2001年ボランティア国際年みえ協賛事業 桑名「六華苑」苑遊会&久波奈夜會

●とき／9月29日(土)AM10:00~PM8:30

●ところ／六華苑(桑名市大字桑名字鷹場663-5)

●参加費／入苑料300円 久波奈夜會500円(入苑料含む)

●内容／【苑遊会】絵本の読み聞かせ(協力:こあら文庫)、ストリートオルガンとハーブティ(協力:はあぶ工房together)、写生大会(対象:小学生)、桑名の千羽鶴折り教室など

【久波奈夜會】野外ソプラノコンサート…スタンダードなクラシックからポップスまで夕闇迫る六華苑をバックに芝生広場で行います。

●申込・問い合わせ先／社団法人桑名青年会議所事務局
Tel.0594-22-8721

ホームページ <http://www.kuwana-jc.or.jp>

●主催／平成のまちづくり「くわなルネサンス」実行委員会、社団法人桑名青年会議所 ●協賛／2001年ボランティア国際年みえ推進協議会

.....

（三重県民生協くらしたすけあいの会 講演会） 「聞こえますか？子どもの声」

●とき／10月10日(水)AM9:55~AM11:45

●ところ／三重県総合文化センター男女共同参画センターセミナーC室

●参加費／一般200円 会員無料 ※託児200円(締切9月29日)

●内容／少子化や子どもの虐待増加の背景として、子育ての孤立化や子育てと親の仕事・自己実現との両立困難などの問題が指摘されています。さらに、いわゆるキレる子どもの存在や生きた体験の不足など、子どもの育ちをめぐる問題も指摘され、多くの親は自分の子育てに不安を感じています。今回は、長年保育の最前線で活躍されている四日市市内部保育園園長・三重県解放保育研究会会長の小川祥子さんに、具体的事例を交えて保育の現場からお話していただきます。

●申込・問い合わせ先／三重県民生協くらしたすけあいの会
Tel.0598-51-9221 Fax.0598-51-9331

.....

第3回ぐるぐるマーケット

●とき／10月14日(日)AM10:00~PM2:00(雨天時21日)

●ところ／嬉野町ふるさと会館前公園&芝生広場

●参加費／一般800円 小・中学生500円

●内容／モノの活かし方を考えながら、大人も子どもも一緒にフリーマーケットを楽しもう。

【出店・出演募集】上記の趣旨に賛同していただける方の出店をお待ちしています。また、ステージで楽しいパフォーマンスを見せてくれる方の出演もお待ちしています。なお、学生さんのボランティアスタッフも募集中。

●申込・問い合わせ先／ボランティアグループぐるぐる Tel.0598-42-5363 Fax.0598-42-8388(平日AM10:00~PM4:00)

.....

9thチームKAZE≡3時間走in青少年の森

●とき／10月21日(日)AM8:00~(雨天決行)

●ところ／県営鈴鹿青少年の森

●参加費／中・高校生1000円 一般2000円(保険料含)

●内容／マラソンシーズン前の練習に『3時間』いい汗をかきませんか。距離を目指す人、多くの仲間との出会いを求める人におすすめの大会

です。トリムコース1周3.4Kmの周回にて距離を計測します。なお、この大会では骨髄バンクを支援する「勇気の会」への募金箱を設置します。
●持ち物／安全ピン4本 ●募集人数／80人(定員になり次第締切)
●応募締切／9月20日(木)必着
●申込方法／参加申込書に必要事項を記入し、郵送。参加料は郵便振替にて入金してください。

口座番号00820-5-115672 口座名チームKAZE 中村賢一

●申込・問い合わせ先／514-0009 津市羽所町700

アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター気付 『チームKAZE』

※問い合わせは往復ハガキにてお願いします。

【ボランティア募集】

大会を手伝ってくれるボランティア、募集中!中学生以上であれば参加可能。ハガキにボランティア希望と書き、連絡先明記のうえ、お申込みを。

ネットワークのよびかけ

宣長さん200年 チリン・シャラン・フェロモン宣長さんの恋したもの…… 「私が見つけた珍しい鈴・面白い鈴」大募集!

あなたの周りに鈴はありませんか?町中や身の周りの珍しい鈴・面白い鈴の写真や情報をお寄せください。抽選で、素敵な賞品を差し上げます。

●応募方法／住所、氏名、電話番号を記入の上、郵送または、E-mailにて、ご応募ください。 ●応募締切／9月20日(木)必着

●応募・問い合わせ先／515-0011 松阪市高町138 「宣長さん200年」実行委員会事務局内 鈴さがし係 Tel.0598-50-0504 E-mail suzubeya@mail.infoseek.co.jp ホームページ <http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Momiji/6734/>

●主催／「宣長さん200年」実行委員会

.....

伊勢志摩NPOネットワークの会からのお知らせ いよいよPO・NPO・Nのホームページができます! <http://www.po-npo-n.com>

個人とNPOをつなぐ窓口に!ということで、何かやりたいひとに情報をさがす場を提供します。その他、伊勢志摩の地域づくりの人材データベースや、さまざまなNPO団体の活動情報が満載になる予定。ぼんぼん通信のPDF版なども!乞う!ご期待!!

.....

第①回園芸福祉全国大会①三重

園芸福祉とは、花や野菜づくりなどの園芸の持つ効用を活用し、人々がやすらぎ、心身ともに健康で幸福に暮らせるようにすることを目指すものです。今回、園芸福祉の普及と発展を図るため、「美しい生命を育てる」をテーマに、初めての全国大会を三重県で開催します。

●とき／11月9日(金)~11日(日)

【第1会場】伊勢志摩ロイヤルホテル(参加申込必要・有料)

9日…女優、高木美保さんによる基調講演「私と園芸」、「園芸福祉の普及について」をテーマにしたシンポジウムや交流会。10日…分科会。

●第1会場問い合わせ先／514-0042 津市新町1-13-12 近鉄津新町駅ビル2階 近畿日本ツーリスト津支店「第1園芸福祉全国大会」係 Tel.059-227-5516 Fax.059-224-1527

【第2会場】県営サンアリーナ 10日~11日いずれも AM10:00~PM4:00 「園芸福祉とのふれあい広場」を開催。

●問い合わせ先／三重県農林水産商工部農芸畜産振興課内 プロジェクトチーム(安田、奥村) Tel.059-224-2547 Fax.059-224-2558 E-mail yasudy01@pref.mie.jp

ホームページ <http://www5b.biglobe.ne.jp/~engeifuk/indexA.htm>

.....

マザーサポーターを利用してみませんか!

マザーサポーター21は、子育て経験をもつお母さんが、わが家でわが子同様に保育する、地域の子育て支援グループです。いろいろなニーズに合った対応で、子育てをサポートいたします。また、お母さんと子どもが気軽に集まれる場所にと、CHIEサロンを昨年4月に発足させました。友だちが欲しい、育児に不安やストレスを感じているお母さん・子どもの交流

の場として、自宅または、公共施設で月1回水曜日にAM10:00～11:30まで開いています。参加される方は事前にお電話ください。
●問い合わせ先／514-0124 津市大里川北町401-52
託児サービス マザーサポーター21(代表:嶋田智恵)
Tel.&Fax.059-231-6967

新みえ産業自慢 おもしろみえ発見フェア2001出展募集
内容は、産業展・物産展・体験コーナー・クリエイティブマーケット・アトラクションなど盛り沢山です。今回のテーマは「元気は三重から『チカラは地から』」。三重の持つ、地力・魅力・気力・創造力・潜在力などを掘り起こし、多くのチカラを集めて三重を面白くしようとする試みです。このテーマを手がかりにして、元気な三重であるために、いま何ができるのか、その可能性を探るおもしろい出展を期待します。県内で活動しているNPO団体のみなさんもぜひ、参加してください。

- 開催日／12月8日(土)、9日(日)
- 開催地／メッセウイング・みえ(展示ホール)
- 出展料／20000円(1ブース16㎡が基本)
- 応募締切／9月29日(土)
- 申込・問い合わせ先／514-0056 津市北河路町19-1 (財)三重産業振興センター おもしろみえ発見フェア事務局 Tel.059-223-4655 Fax.059-223-4656 E-mail messewing@zvtv.ne.jp
- 主催／財団法人三重産業振興センター

THE 13th LIGHT MUSIC FESTIVAL 出演バンド募集!

12月22日(土)、玉城町中央公民館で行われる「THE 13th LIGHT MUSIC FESTIVAL」の参加者を募集しています。
●応募締切／9月9日(日)必着
●申込方法／応募用紙を入手し、下記まで郵送または直接届けてください。
●問い合わせ先／515-2332 一志郡嬉野町津屋城1420-1 三重県軽音楽振興協議会(K-Net)事務局 第13回LMF出演バンド募集係 Tel.0598-42-6656
519-0415 度会郡玉城町田丸114-1 玉城町教育委員会社会教育課内 第13回LMF出演バンド募集係 Tel.0596-58-8378

ボランティア国際年記念 三重県ボランティアフェスティバル「わたぼうしコンサート」「詩」と「作曲者」募集

【(1)作詩の部】1.募集内容／日頃から感じている思いや夢を託した詩、障害のある人となない人の間の理解を促すような詩を募集します。テーマ・形式は自由。作品は未発表のもの。
2.応募資格／障害をもつ方 3.応募締切／9月7日(金)
【(2)作曲の部】1.募集内容／障害をもつ方々が日ごろから感じている思いや夢を託した詩、障害のある人となない人の間の理解を促すような障害者の詩にメロディーをつけ、コンサート当日、演奏(アカペラ可)・歌唱してくださる方、グループを募集します。 2.応募資格／特に設けません。(作曲部門は障害の有無を問いません。) 3.応募締切／エンタリー 9月7日(金)・作品応募 10月26日(金)
※三重県ボランティアフェスティバル「わたぼうしコンサート」は、12月9日(日)に三重県総合文化センター中ホールで開催します。(開演PM1:00 終演PM3:30の予定)
●応募・問い合わせ先／三重県ボランティアセンター「わたぼうしコンサート」係 514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 Tel.059-229-6634 Fax.059-229-6635 E-mail mvc@miewel.or.jp
●主催／「広げよう ボランティアの輪」実行委員会、社会福祉法人 三重県社会福祉協議会・三重県ボランティアセンター

宮川流域ルネッサンス事業 写真コンテスト

宮川・宮川支流及び宮川流域に関係した祭、史跡名勝、河川構造物、建物等に関していけば人物が写っていてもかまいません。プロ・アマを問わず応募できます。
●応募締切／春・夏部門 9月10日(月)必着
秋・冬部門 平成13年9月11日(火)～平成14年3月11日(月)必着
●申込・問い合わせ先／516-0034 伊勢市勢田町622 宮川流

域ルネッサンス協議会
Tel.0596-27-5411・5413 Fax.0596-27-5418

三重環境県民会議 県民運動企画委員も募集します!

三重環境県民会議は、草の根的な活動から県民全体が参加できる活動まで、多様で自主的な環境活動をより活発にして広めることに取り組み、県民が主体となって運営する組織です。現在は、環境創造活動助成金制度、レジ袋ゼロ運動、自然散策デー、情報誌やFM番組の製作、市民組織の調査などを進めています。このたび、三重環境県民会議の委員として積極的に参画していただける方を、以下のとおり広く募集します。あなたの思いや知識、あるいは行動力を発揮してみませんか。

- 応募締切／9月30日
- 申込方法／三重環境県民会議事務局に連絡し、応募用紙(A4用紙1枚)を入手。必要事項を記入のうえFaxなどで事務局に送付してください。
- 問い合わせ先／510-0304 河芸町上野3258 三重環境県民会議事務局((財)三重県環境保全事業団内) Tel.059-245-7512 Fax.059-245-7518 E-mail kenmin@mec.or.jp
- ホームページ www.mec.or.jp/kenmin

女も男も元気な社会づくりフォーラム参加者募集

一人ひとりが輝ける新しい社会を目指して開催する「女も男も元気な社会づくりフォーラム」では、分科会・ワークショップ・活動展示・パフォーマンスなどで、日頃の成果を発表していただけるグループ・団体・市町村を募集します。グループ紹介・グループイベント情報提供など、発表方法は問いません。たくさんのご応募をお待ちしています。なお、「女も男も元気な社会づくりフォーラム」は2002年1月25日(金)～26日(土)に三重県総合文化センター内各会場で行われます。ご利用いただける日時と場所などはお問い合わせください。
●申込締切／9月20日(木)必着
●申込方法／別紙申込書に必要事項記載のうえ、郵送、Fax、E-mailでお申込ください。応募者多数の場合は選考し、10月上旬にお知らせします。
●問い合わせ先／514-0061 津市一身田上津部田1234番地 フレンテみえ Tel.059-233-1130 Fax.059-233-1135 E-mail frente@center-mie.or.jp

子ども心のいばしょ 森のフリースペース

「森のフリースペース」では、子どもの自主性を尊重し、その子の表現を大切にしています。そのため、その日の子どもによって活動内容が構成されていきます。ものづくり、絵画、音楽、自然たんけん、スポーツなど、子どもの要求に応じて、パートナーがサポートします。また、保護者の方との面談の機会を大切に、みんなが健やかな日々を送れるように支援します。対象は、人と交わることが苦手、緊張しやすい、傷つきやすい、集団に馴染みにくい、家で一日を過ごすことが多い、などの心配がある子どもです。Faxでも受付していますので、お気軽にご連絡ください。
●申込方法／来たい日時を予約
●申込・問い合わせ先／津市大字神戸1943 Tel.&Fax. 059-237-4807

第②回みえ人権フォーラム ボランティア募集

みえ人権フォーラムとは、世界人権宣言の趣旨を広く周知するとともに、人権問題の解決に向けて人権尊重の気運を県民の中に盛り上げていくことを目的としたものです。このフォーラムに関心のある県民の方で、当日、実施にあたって支援をいただける「みえ人権フォーラム・ボランティア」を募集します。応募対象は16歳以上の個人または企業、各種団体(自治体を含む)、学校、グループ等の団体。登録は個人単位とし、専用の登録証を交付します。主な活動内容は、各事業内容の運営補助、会場案内、参加者の介助等参加者への各種サービスなどです。
●応募締切／11月9日(金)
●実施日／11月17日(土)、18日(日)の2日間。ただし両日の内どちらかの日でもよいものとします。
●実施場所／メッセウイング・みえ(津市北河路町19-1)
●申込方法／上記に従って、直接下記申込先へTel、郵送、FaxまたはE-mailのいずれかの方法でお願いします。

●申込先／514-0113 津市一身田大古曾693-1
三重県人権フォーラム実行委員会事務局(三重県人権センター内)
Tel.059-233-5538 Fax.059-233-5511
E-mail imadr@jinkennet.gr.jp

こんな制度ができました！ 生活創造圏ビジョン推進民間支援事業

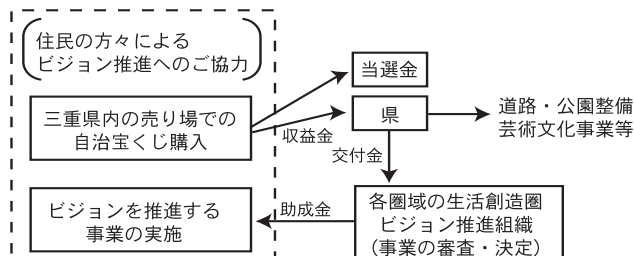
～事業の実施と宝くじの購入でビジョン推進へのご協力を！～

県内9つの生活圏域において、創意工夫と特色を生かした施策を地域が主体的に考え、実行していくことを基本に、県民と市町村、県が、協働(コラボレーション)で魅力ある地域づくりを行っていくという考え方が「生活創造圏づくり」です。平成11年度にはその先導的な取り組みとして、各圏域毎に「生活創造圏ビジョン」を策定しました。これは地域が取り組むべき目標を描き、実現のための方向性や方策などを明らかにした地域づくりの計画書です。平成12年度からはビジョン推進組織を中心に、具体的な取組を進めています。

本事業は、生活創造圏ビジョンの推進に当たって、住民の方々においても自主的・主体的に実施していただくことにより、ビジョンに基づく取組を一層充実させるために創設したものです。

なお、平成14年度から、宝くじ収益金が増えれば、それに応じて助成金を増額する仕組みにしたことで、財源の充実から執行までを住民の方々に直接関与していただくことにしました。

【生活創造圏ビジョン推進民間支援事業の予算フロー】



【積極的な事業の応募を！】

現在、各生活創造圏毎のビジョン推進組織が、助成を行う事業を募集しています。助成の対象となる事業は、各圏域のビジョンのテーマに関連し、ビジョンの推進に貢献する、住民の方々によって実施される事業です。ビジョンのテーマ、応募先などは以下の通りです。応募方法などについては、各圏域毎の募集要項において定めていますので、詳しくは各県民局へお問い合わせください。

『桑名・員弁』北勢県民局企画調整部桑名市駐在 Tel.0594-24-3600

●テーマ／環境にやさしい圏域づくり

●募集期間／8月1日～9月14日

『四日市』北勢県民局企画調整部 Tel.0593-52-0554

●テーマ／ごみ問題解決に向けた行動の輪づくり

●募集期間／8月1日～9月14日

『鈴鹿・亀山』北勢県民局企画調整部鈴鹿市駐在 Tel.0593-82-9785

●テーマ／水を大切にす流域づくり、魅力ある歴史・文化の流域づくり、人が集う流域づくり

●募集期間／8月20日～9月17日

『津・久居』津地方県民局企画調整部 Tel.059-223-5300

●テーマ／環境(自然環境、生活環境)、歴史・文化、情報化

●募集期間／9月1日～9月30日

『松阪・紀勢』松阪地方県民局企画調整部 Tel.0598-50-0508

●テーマ／伊勢街道を生かしたまちづくり、柳田川を軸にしたまちづくり、元気な山里づくり、バリアフリーのまちづくり

●募集期間／8月～9月7日

『伊勢志摩』南勢志摩県民局企画調整部 Tel.0596-27-5110

●テーマ／“きらり環境”(地域)づくり、“きらりすと”(人)づくり、“きらり”が生きるあきない(産業)づくり

●募集期間／8月1日～9月14日

『伊賀』伊賀県民局企画調整部 Tel.0595-24-8004

●テーマ／伊賀の水環境、伊賀の文化、伊賀の交流(情報交流・集客交流・福祉交流)

●募集期間／9月1日～9月30日(予定)

『尾鷲』紀北県民局企画調整部 Tel.05972-3-3409

●テーマ／魅力ある集客交流圏づくり

●募集期間／8月10日～9月14日

『熊野』紀南県民局企画調整部 Tel.05978-9-6176

●テーマ／健康長寿社会づくり、集客交流で取り組むまちづくり

●募集期間／9月1日～9月30日(予定)

『全体とりまとめ』地域振興部地域振興課 Tel.059-224-3326

フリーマーケット情報

【ポルタひさいフリーマーケットの予定】

●とき／9月23日(日)AM10:00～PM3:00(雨天中止)

●ところ／近鉄・久居駅前ビル「ポルタひさい」西・南側歩道上

●問い合わせ先／小森悦司 Tel.090-5113-1114

E-mail crm2000@ztv.ne.jp ●主催／久居フリーマーケット連絡会

【中勢フリーマーケット協会の予定】

「杜の街(河芸町)」

●とき／9月23日(日)24日(振休)AM10:00～PM3:00

●参加費／会員1000円、一般1300円 各日30ブース

「鈴鹿弁天山公園」 ●とき／10月14日(日)AM9:30～PM3:30

●参加費／会員1300円、一般1800円

●申込方法／出店、会員申込とも、直接次の郵便振替口座に振込を。通信欄に希望ブース数、日付、場所を書いてください。

中勢フリーマーケット協会口座 00870-0-121921

●問い合わせ先／安芸郡河芸町2434-5 中勢マーケット協会

Fax.059-245-2536 Tel.(携帯)090-7027-4334

みなさんへのお知らせ

【NPO担当から】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は今回、ありませんでした。引き続き、認証申請を受け付けています。

成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO担当及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●設立した特定非営利活動法人

(1)名称、(2)認証年月日、(3)代表者の氏名、(4)法人の事務所の所在地、(5)定款に記載された目的、(6)登記年月日

【79】(1)特定非営利活動法人菰野を良くする会 (2)平成13年3月22日

(3)宮崎浩 (4)三重郡菰野町大羽根園青葉町20番地2

(5)この法人は、家事支援等福祉サービス事業、子どもの躰、徳育等青少年健全育成事業及び植樹、清掃等美しい街づくり事業を行い、明るく住みよい豊かな地域社会を建設し、菰野町の発展に寄与することを目的とする。

(6)平成13年4月2日

【80】(1)特定非営利活動法人志摩フィールドキャンパス21

(2)平成13年3月22日 (3)浜野由 (4)志摩郡阿児町立神1952番地1

(5)この法人は、自然や生活文化に触れる体験型の環境教育活動に関する事業を行い、地域の環境保全、暮らしの仕組みの変革、子どもの健全育成及び住民の交流を図り、もって地域社会づくり・人づくりに寄与することを目的とする。

(6)平成13年4月2日

【81】(1)特定非営利活動法人居宅介護支援カタヤマ

(2)平成13年3月26日 (3)片山幾代 (4)鈴鹿市寺家三丁目28番19号

(5)この法人は、65歳以上の高齢者、特定疾病の者、身体障害者に対して、居宅介護支援に関する事業を行うとともに、その他の福祉事業を行い、もって保健、医療、又は福祉の増進に寄与することを目的とする。(6)平成13年4月2日

【82】(1)特定非営利活動法人うえの託児所ドリーム (2)平成13年3月26日

(3)中辻玲子 (4)上野市緑ヶ丘西町2399番地の1

(5)この法人は、保育や保護を必要とする乳幼児・児童に対して、心身の健全な育成を支援する事業を行うことにより、働く者の権利を守り、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。(6)平成13年4月6日

【83】(1)特定非営利活動法人地域づくり考房みなと (2)平成13年4月16日

(3)井上雅文 (4)四日市市天ヶ須賀四丁目9番19号

(5)この法人は、市民活動の発展をめざし、市民自身の手による地域づくりの活動を支援する組織として、行政や企業とパートナーシップを築きながら、市民活動団体が活動しやすい環境を整えるための事業を行い、もって市民社会の発展に寄与することを目的とする。(6)平成13年4月24日

【84】(1)特定非営利活動法人家庭危機管理・ひまわりの仲間たち

(2)平成13年5月1日 (3)関本蘭子 (4)四日市市鵜の森一丁目2番15号

(5) この法人は、人間関係とコミュニケーション、家庭における危機管理、子育て支援、子どもの心等に関する事業を行うことにより、家庭生活の安定と平和に寄与することを目的とする。(6) 平成13年5月8日

【85】(1) 特定非営利活動法人NPOネットワークinポルタ (2) 平成13年5月9日 (3) 久保勝史 (4) 久居市野村町872番地5

(5) 本会は、住民の参加による活力ある社会の実現を目指し、市民活動・ボランティア・NPOなどの活動をしている個人や団体に対して、活動促進および支援に関する事業を行うことにより、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。(6) 平成13年5月24日

【86】(1) 特定非営利活動法人桃太郎会日本 (2) 平成13年6月22日 (3) 山中正次 (4) 桑名郡多度町御衣野667

(5) この法人は、被災者支援活動、飢えや病気に苦しむ人々の救援活動、青少年育成活動、健康管理サポート活動等を行うことにより、人とのつながりを大切に、感謝の出来る思いやりのある人を増やし、地域社会に貢献することを目的とする。(6) 平成13年6月25日

【87】(1) 特定非営利活動法人エス・サプライ (2) 平成13年6月22日 (3) 島村晃一 (4) 津市高野尾町3006番地の249

(5) この法人は、すべての人々が生涯学習を通じて自ら生きがいを創造し、健全な精神のもとに健康で快適な生活を営むことができるようスポーツの振興を図り、もって地域社会の生活の質の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。(6) 平成13年7月2日

(平成13年4月17日から8月15日登記完了届出分)

助成金 ニュース

住友海上福祉財団 研究助成

●受付締切／9月10日(月)必着

●助成の対象となる研究／(1)交通安全関係…交通事故の防止、被害軽減ならびに被害者に対する医療に関して、交通環境・車両・人間についての個人またはグループによる主として自然科学系統の研究。
(テーマ・キーワードの例：道路交通システム(ITS、AHS等)、事故多発地点、標識、バリアフリー、運転、追突防止、用具(シートベルト、チャイルドシート等)、自転車、人間工学、外傷、救急、法医学、心理、交通安全教育、高齢者、子どもなど)

(2)高齢者関係…高齢者に関する医療・保健・福祉についての、個人またはグループによる主として自然科学系統の研究。
(テーマ・キーワードの例：老年病、老化現象、リハビリテーション、看護、介護、健康増進、心理、生きがい、福祉機器、バリアフリーの住まい・施設・町づくり、情報通信など)

●助成の額／交通安全関係2000万円、高齢者関係2000万円、総額4000万円。

応募の際に、1件あたり助成金額が「100万円以下の部」と、「100万円超200万円以下の部」のいずれかを選択してください。なお、機材備品費は申請額の30%以内を目安とし、パーソナルコンピュータ、ビデオカメラ等汎用性のある機器は、原則として助成の対象としません。また、研究者本人と共同研究者への謝金・手当・人件費および研究成果発表のための旅費も助成の対象としません。

●応募方法／申請書はホームページからダウンロードできます。記入した申請書は郵送にて応募。E-mailでの受付はいたしません。

●問い合わせ先／(財)住友海上福祉財団助成係
163-0268 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル42階
Tel.03-3347-2853 Fax.03-3347-2854
E-mail sumikai-zaidan@sumitomomarine.co.jp
ホームページ <http://www.sumitomomarine.co.jp/welfare/>

グレートブリテン・ササカワ財団 2001年秋期助成事業

●受付締切／9月30日(日)※審査会は年2回(春・秋)開催。

●助成の対象となる団体／イギリスまたは日本国籍を持つ人または組織、団体。個人の研究のため個人が申請することはできません。

●助成の対象となる活動／文化、経済、科学など様々な分野を通し、イギリスと日本の間の相互理解を深めるための活動。

1、人物交流／イギリスよりの来日と日本からの訪英に関する援助。

2、文化交流／美術展、演劇、音楽、スポーツ等の日英交流に関する援助。

3、その他／社会福祉、文化、教育、科学などの分野での調査研究活動、国際会議・セミナー開催に関する援助。

●助成対象事業の期間／平成12年以降に開始される事業。

●応募方法／下記の内容を簡単にA4用紙2枚以内にまとめ、プロジェクト英

文要旨(A4用紙1枚以内)を添えて申し込んでください。

1、申請団体名(和文名および英文名)、代表者または申請者名(フリガナ)。

2、連絡先：住所、電話、Faxなど。

3、プロジェクト名(和文名および英文名)。

4、プロジェクトの概略：簡単に意義、目的、実施期間などを含め説明。

5、プロジェクトにかかる総費用と希望する助成金額(他の財団へ助成申請している場合はその財団名と期待額を明記)。

6、申請団体の内容および申請者とプロジェクト参加者の紹介。

7、当財団のことをどちらでお知りになったか。

●申込・問い合わせ先／グレートブリテン・ササカワ財団 東京事務所
107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4階
Tel.03-6229-5465(電話による問い合わせは月・木のAM10:00～PM5:00に) Fax.03-6229-5467 E-mail gbsf@spf.or.jp

(財)朝日生命厚生事業団 数納(かずのう)賞

●受付締切／11月30日(金)

●賞の対象／児童の健全育成に関し、児童福祉施設(児童館、児童養護施設など)、地域組織(子ども会、母親クラブなど)、家庭相談員、里親などの活動の具体的実践報告。

●原稿用紙と記載方法／A4版・横書き400字詰、30枚程度を厳守。黒のボールペンまたは黒インクを使用。ワープロ使用の場合は20字×20行横書きまで。原稿の添付資料は予備審査の時に請求することがあります。

●明記事項と報告の概要／原稿と別に、報告題名、住所・氏名(フリガナをつける)、年齢、職業、連絡先、電話番号を明記した用紙と報告の概要(400字詰3枚に要約)を添付。

●応募上の注意／応募原稿・添付資料は返却しません。すでに他団体の企画に応募した重複論文等については応募できません。

●受賞・数納賞1編(賞状と賞金30万円)、佳作4編(賞状と賞金各5万円)。ただし、該当するものがなく見合わせることもあります。また、佳作に準ずると評価された報告は選外ながら特に数納賞奨励賞(賞状と賞金3万円)を設けます。

●選考基準／1、活動の先駆性、普及性、社会的効果性。2、地域(地域住民、各施設、行政など)との連携状況。3、自己の活動への客観的検証。4、文章構成における論理性。5、実践記録としての価値。

●応募・問い合わせ先／(財)朝日生命厚生事業団 160-0023 東京都新宿区西新宿1-9-14 Tel.03-3342-0604～5(担当/砂川)

(財)ポーラ伝統文化振興財団

●受付締切／12月締切

●助成の対象となる団体／一個人・団体につき一件の申請に限定。団体の法人格の有無は問いませんが、持続性のあることが原則。

●助成の対象となる活動／日本の無形の伝統文化(伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能、行事など)を保存・伝承・振興するために行う事業で、有益な成果が期待できるものに対して補助的な援助を行う。具体的には目的に関連した以下の分野など。ただし、営利を目的とし、あるいは結果が直接営利に結びつくような事業や海外のみを対象とした事業は助成対象となりません。

1、基礎的、または表に現れにくい地味な仕事(下職、裏方、道具、原料づくりなど)に関連した分野。

2、後継者として期待できる若い人または若手グループに関連した分野。

3、記録、研究、普及など将来にわたり有益な業績・効果が期待できる分野。

4、民俗芸能・行事などの歴史的、学術的に重要で緊急性のある分野。

5、民俗芸能・行事などの伝承を目的とした子どもグループや若年層の活動、学校教育活動などの分野。

●対象事業の期間／通常は当財団の一事業年度単位(4月1日～翌年3月31日までの1年間)。条件により長期にわたる場合も。

●助成の額／1件あたり30万円程度から200万円程度。ただし、条件により2～3年の分割とする場合があります。

●応募方法／財団所定の申請用紙に記入後、書留にて送付。

●問い合わせ先／(財)ポーラ伝統文化振興財団 104-0061 東京都中央区銀座1-7-7 Tel.03-3561-7408 Fax.03-3561-7480

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。

財団法人 助成財団センター
Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。伊勢志摩NPOネットワークの会事務局の斎藤さんが紹介してくれたのは、阿児町の北川博子さん。あふれるバイタリティが素敵な「志摩おもちゃ図書館キラキラ星」の世話人さんです。

障害のある子が主人公…「おもちゃ図書館」

……北川さんの活動されている「おもちゃ図書館」について教えてください。

おもちゃ図書館は障害児が主人公の遊びの場です。この活動が始まった20年ほど前、障害児を取り巻く環境は教育と訓練の場が中心で、子どもがホッとひと息つける遊びの場がありませんでした。それで「楽しいことも子どもたちになくては」と、つくられたのがおもちゃ図書館です。

……「志摩おもちゃ図書館・キラキラ星」を始められた動機はなんですか？

この土地の障害を持つ人たちの顔が見えるようになり、また、住民として私たちに出来ることはないかと考えたのです。この時、おもちゃ図書館なら地城の子どもたちが遊びに来られると、思ったのです。現在、第1と第3の日曜日、午後から鵜方公民館で開館しています。

……どのように運営されているのでしょうか？

おもちゃ図書館活動には、「障害のある子どもが主人公・ボランティアの運営・開かれた場所で開催」という三原則があります。設置運営がどこかで、中味は随分変わりますよね。三重県で行われているおもちゃ図書館の多くは社会福祉協議会（以下、社協）が設置運営していますが、志摩おもちゃ図書館はボランティアで設置運営をしています。ボランティアの主導で設置したのは、私が初めてでした。この場合、制約というものがありませんから、自由にやっています。

ステッカーをつくりました。理解してくださる方に運営協力として300円で購入してもらいます。半分が製作費、半分が寄付です。それにおもちゃ図書館財団からのおもちゃの現物寄贈と購入費の助成もありますし、阿児町社協からも1万円の助成金があります。

……利用者スタッフはどれくらいいるのですか？

主人公である子どもたちは3、4人くらいですね。それに兄弟とお友だち。最近では地城の子どもたちも一緒に遊んでいますよ。「スタッフは？」と言われると困るんですけど(笑)おもちゃ図書館活動は横着に言えば、誰かひとり開館準備する人がいれば出来るんですよ。たくさんの子どもの遊びに来る場合は大変ですけど、幸いというか、何と言うか、キラキラ星の場合はそんなに多くないので。それに私は子どもたちのお母さんもボランティアと考えています。片付けは子どもと一緒にやります。キラキラ星がどんな場所であって欲しいか、意見を持っているのは親ですからね。一緒にやっていくなから「自分たちのおもちゃ図書館、キラキラ星」という意識が出てくるでしょうし、そうあって欲しいと願っています。

……活動を支えるボランティアは育っていますか？

昨年の夏、ボランティアにきてくださった方がありました。彼女は大学の卒論におもちゃ図書館を取り上げられ、認められて発表されたそうです。この春からこちらの保育所に勤められ、今、キラキラ星の有力なボランティアです。また、その発表を聞かれた学生さんがボランティアに来てくださっています。「待ち続けた日がやっと来た！」って思いましたよ。すごく嬉しいです。子どもたちもお兄さんやお姉さんが大好きですからね。私はボランティアしてくださる人に、「いつでもいい、あなたが来られる時に来てね」と言います。「次も必ず来て」とは言いません。ボランティアはあくまで自発的な活動ですから。

……最近の「キラキラ星」の様子を聞かせてください。

昨年の夏から地域の小学6年生が福祉体験教室としてボランティア体験に来ています。今、子どもたちに福祉のボランティア体験をさせようという世の中になってきていますが、その受け入れ場所があまり無いんですよ。それでおもちゃ図書館に話が合ったんですけど、もう、「来て！来て！大歓迎！」って。(笑)

……遊びに夢中になってしまう子どもはいませんか？

最初に一応「友だち同志で遊ばない」って釘を刺すんですが、最後には夢中で遊んでいます。でも、それでいいんですよ。障害のある子どもたちと一緒にの場所で、違和感無くごく自然にいる、なんてことはなかなか無いことですから。

……「おもちゃ図書館」ボランティアの魅力は何でしょう？

おもちゃ図書館に来るのを楽しみにしてくれている子どもが一人でもいれば、ボランティアは続けられるのですね。相手の顔が見えるということは、ボランティアを続ける上ですごく大事だと思います。それに子どもたちの成長と一緒に見せてもらえる。親が気づいていない成長が私たちに出来ることだってありますし、障害があっても着実に成長するんだ、ということを見近で見せてもらってるわけです。家族以外に自分の子どもをいつも見てくれている人がいる。そういう存在に私がなっているだろうし、私もそれを楽しみにしています。子どもがね、「来たよ！」って飛びついてくるんですよ。嬉しくて涙が

志摩おもちゃ図書館キラキラ星 世話人



北川博子 さんに 聞く

……社協で設置してもらい、ボランティアで参加することは考えなかったのですか？

私はあまり「公」という事を考えない人間で、「自分でできる事はさっさとやればいい」と思うものですから、全く考えませんでした。ですから活動を始めた時は、阿児町社協に「おもちゃ図書館ありますか？無ければつくっていいですか？」と聞きに行きました。幸い、社協の人たちは好意的で積極的に応援してくださったのです。阿児町社協の人はやる気があっていいですよ。

……活動資金はどうしているのですか？

出そうになるの。おもちゃ図書館ボランティアは楽しくて幸せをもらうんですよ。

……おもちゃ図書館のボランティアは障害についての知識がいるのでは？

よく聞かれますがそんな事はありません。丸ごと子どもを受け入れ一緒に遊んでいると障害があるとかは全然気にならないんですよ。今は福祉の考え方も随分変わって来ましたよね。ありのままの姿で、地域で過ごすという考え方が主流になってきましたから、おもちゃ図書館の方向も変わりつつありますね。

知的障害を持つ子どもたちを預かる志摩シエスタクラブ

……北川さんがお仕事としてされている、志摩シエスタクラブとは何ですか？

知的障害を持つ子どもたちのショートステイのための家です。夫は「子どもの発達・福祉アカデミー」を主宰していて、知的障害をもつ子どもたちの家庭療育相談をしています。全国に会員がいて各地に出かけ、ご両親に子どもの育て方や教育についてのご指導をさせていただいています。そんななか、特に夏休み明け面談で、お母さんから「子どもの世話でクタクタです」という言葉を毎年耳にしてきたのです。丁度、わが家は子どもたちが大学生で家を出ていました。夫から、「1週間ぐらいでも子どもを預かってやれないかな？」という相談を持ちかけられ、「いいわよ」と軽くのったのがシエスタの始まりです。最初の5年は自宅で、6年目に子どもの成長に合わせ、自立した大人に向けての生活を体験していくため、個室のある家を建てる提案を会員にしました。

**子どもたちの成長と一緒に見せてもらえる。親が気づいていない成長が私たちに
見えることだってありますし、障害があっても
着実に成長するんだ、ということを見近
で見せてもらってるわけです。**

……志摩は故郷なのですか？

いいえ、三重県に知っている人はいませんでした。私たちは障害児をショートステイさせるにふさわしい、自然豊かな場所を探していて、この土地に巡り合いました。

……シエスタクラブの建物はどうやってつくられたのですか？

「子どもの発達・福祉アカデミー」のメンバーで、建設の主旨に賛同する方がお金を出しました。一家族150万円出し合って、足りない分は私たちが補いました。この家はグループホームをイメージしているのです。3つの個室があって、世話をする人がいる。大人になって、施設入所になったとしても、これくらいの空間の家は必要だろうと思っています。

……子どもたちにとってシエスタクラブの生活はどんな意味があるのでしょうか？

ここは子どもたちにとっては楽しい場所であり、良い環境、豊かな体験を与えられる場所です。一人で飛行機や電車に乗ってくる子もいますよ。知的障害を持つ子どもが一人旅をするなんて、通常は考えられない事でしょ？子どもがシエスタにいる間、親が気持ちをリフレッシュさせることもできますね。

マンボウをイメージキャラクターにしたステッカー。



小学校のボランティアを迎えて。楽しそうに遊んでいます。

……他に志摩シエスタクラブのような場所はないのですか？

各地にあればいいと思いますが、残念ながら私たちは知りません。公的な建物ではありませんから、つくるにしても維持していくにしてもお金がかかります。私たちの受け入れ方も施設などのショートステイとは違い、その子と何年もの間付き合っていて、成長を見続けていますから、その子がどんな子どもかよくわかっているんです。これまでに培った信頼で、親から言えば、私たちに安心して預けられるという事だと思っています。

……全国各地のメンバーとどのように知り合われたのですか？

家族と北川との出会いというのは、両親が子どもの事で相談機関や病院を訪ねられるなかで、人づてに評判を聞いて来られるという場合がほとんどですね。10年以上のお付き合いになっているご家族も大勢いらっしゃいますよ。初めて行ったショートステイに参加した子どもも、10年も経つと背丈が伸びて、みんな私より大きくなってしまいました。今では私が一番チビさんです。

……地縁が無いゆえの苦労は？

当然ですがありますよね。北川博子という人間を一から知ってもらわねばなりませんから。おもちゃ図書館をやろうとしたときも、反応は色々でした。でも今年5月で丸5年を経過したんですよ。続けてこられたのもこの地におもちゃ図書館が必要だったからだと思っています。開館日が120回を数えたんですからね。続けてきたおかげで、今では県内のおもちゃ図書館のボランティア交流会を定期的に開催する事も定着してきましたし、たくさんの仲間が生まれています。細々ではあるけれど、いろんな所で認知もされてきました。嬉しい事です。私を支え、励ましてくださる人も着実に目に見えて増えています。

志摩おもちゃ図書館「キラキラ星」

窓口：阿児町社会福祉協議会ボランティアセンター

Tel.0599-44-1101

世話人：北川博子

517-0506 志摩郡阿児町国府1285-83

Tel.&Fax.0599-43-7089

北川博子さんはこの人を**紹介**します。

澤内喜代子(さわうちきよこ)さん

「会って2回目で、この人やるな!って思ったの」と北川さんが一目置くのが澤内さん。福祉やまちづくりなどさまざまな分野で活躍しています。最近はやさしいソーランに夢中とか。

編集後記

市民活動ニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

- (1) 原稿はニュースにそのまま掲載できるよう十分に校正をして、毎月15日までにお送りください。(同月25日発行)
- (2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動ニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。
Fax.059-222-5971 E-mail open@mienpo.net

転載を希望される場合は必ずNPO担当に連絡してください。

R100 古紙100%、白色度70%の紙を使用しています。